

議論と課題意識

【基本的な考え方の整理】

活力ある生徒の育成や体力を全国平均値まで引き上げるために、次の疑問を整理した。

- ・ 体力とは何か
- ・ なぜ体力が低下したか
- ・ いつから体力向上が必要か
- ・ 体力向上はいつまでやるか
- ・ 体力テストとは何か



体力向上の推進の必要性



【体力的な課題】

- ・ 運動・スポーツを好んで行うこと
- ・ 「持久力」「投力」「握力」を高めること
- ・ 基本的な生活習慣等を確立すること
- ・ バランスよい食事と食習慣を確立すること
- ・ 家での手伝いや社会貢献を行うこと
- ・ 運動など一日の身体活動量を増やすこと



【目指す生徒像】

- 「磨く (自己のよさを知り向上する)」
- 「挑む (新たなこと等に挑戦する)」
- 「思いやる (自他を大切に)」

【生徒の実態】

- ・ 挨拶がしっかりでき、礼儀やマナーが良い。
- ・ 「持久走」「投力」「握力」が平均的に低い傾向にある。
- ・ 肥満傾向の生徒が多い(特に第1学年男子)。
- ・ 進んで運動する生徒とそうでない生徒の二極化である。
- ・ ゲームやスマホ等に時間を使う傾向がある。が少ない。

【保護者等の思い】

- ・ 健康であれば学力向上を優先に考える傾向がある。
- ・ 部活動などより高いレベルで活躍してほしいと願う保護者や地域住民も多い。

研究の意義とねらい等

【目標とする視点】

- ・ 豊かな生活を送る**活力ある生徒**を育成する。
- ・ 体力調査結果を**全国平均**まで引き上げる。



【足立区基本構想】

協創力でつくる **活力**にあふれ **進化**し続ける
ひと・まち 足立

※ 「活力」とは、持続可能な社会を支える力であるとともに、進化のためのエネルギーでもあります。・(中略)・そして、まちに「活力」があふれることで、人やモノが自然と集積し、つながり、新しい動きが巻き起こり、「進化」へとつながるエネルギーとなります。

【研究の内容】

学校が拠点となり、家庭や地域と連携して、次の4つの視点を柱として、具体的な取組を推進する。



1 体育学習等の改善・充実

- ・ 体力等調査結果の分析
- ・ 体育学習の改善・充実
- ・ 研究開発
- ・ 小中連携 など

2 運動・スポーツの推進

- ・ 部活動の推進
- ・ オリンピック・パラリンピック教育
- ・ 関係機関等との連携
- ・ スポーツの価値と生き方の理解など

3 生活・運動習慣の確立

- ・ 生活習慣づくり
- ・ 食育の推進
- ・ 運動習慣づくり
- ・ 健康教育の推進 など

4 意識向上と態度の育成

- ・ 体力に関する理解
- ・ 積極的な行動の推進
- ・ 豊かな生活の推進
- ・ スポーツとの関わりの推進 など

実践事例

◇事例1 (体力の高まりを知る学習過程の開発)

- ・ 器械運動、陸上競技、球技などの単元終了時に、体力向上確認調査を行い、年度はじめに実施した体力テストの結果と比較し分析した。
- ・ 体力向上早見表を開発し、教員の指導に生かすとともに生徒の関心を高めた。

◇事例2 (トップアスリートとの交流等)

- ・ パラリンピアンとの交流、講演会によりスポーツを推進し、スポーツが生活を豊かにすることや体力が大切なことを知り、自己の生活に生かした。



シットリングバレーボール体験

◇事例3 (全員参加の部活動の推進)

- ・ 生涯にわたって文化・スポーツに親しむ資質と能力を育んだ。
- ・ 毎年の部活動説明会、部活動単位の行事運営やボランティア活動、集会での評価などで、所属意識や達成感を高め、意欲を向上させた。

◇事例4 (特別活動における「スポーツと栄養」)

- ・ 小学校の栄養教諭と中学校の保健体育科教員のティームティーチングで、小中連携教育の研究授業を実施した。
- ・ 体力や運動能力を高めるための食習慣等を改善する態度を養った。

◇事例5 (オリンピック・パラリンピックルームの設置)

- ・ 展示室を設置し、生徒の意欲と関心を高め、スポーツや活力ある生活の実現、体力向上を目指した。



用具等の紹介

◇事例6 (校内掲示による体力向上の啓発)

- ・ 各種ポスター、校長室だより、様々な取組、体育学習での記録、保健委員会掲示により、学校全体の機運を高めた。

◇事例7 (リーフレットや各種だよりでの啓発)

- ・ 各種たよりやリーフレット等により、保護者や地域住民の意識啓発を行った。



ポスター

◇事例8 (社会貢献活動の推進)

- ・ マラソンの給水や地域美化などを通して、主体的に活動する態度を養った。

第2年次・第3年次に向けて 等

【成果と課題】

- ・ 挨拶や礼儀マナーが身に付いた
- ・ 運動・スポーツへの関心が高まった生徒 86.4%
- ・ 食育や健康について理解を深めた
- ・ 体力に関する意識が高まった生徒 83.2% など

【今後の方向性】

研究の4つの視点における取組の充実と具体的な数値指標の設定

- ・ 体力を全国平均値まで引き上げる
- ・ 体力への自己肯定感がある 85%以上
- ・ 部活動に積極的に参加 85%以上
- ・ スマートフォン等を控えめにした 70%以上 など

参考資料 (27頁から)

- ・ 授業改善の視点 (アクティブ・ラーニング等)
- ・ 校長室だより (関連記事の抜粋)
- ・ 啓発用リーフレット
- ・ オリンピック・パラリンピック教育の取組
- ・ 小中一貫教育の方向性について
- ・ 学力向上の総合方策について